

公共事業継続箇所評価調書

(様式5)

評価確定日(令和5年 9月29日)

事業コード	R5-建-継-07		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	交通安全対策事業(通学路緊急対策)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	歩道設置事業		班 名	道路環境・維持チーム (tel) 018-860-2488
路線名等	一般県道 根瀬尾去沢線		担当課長名	道路課長 石川 康樹
箇所名	鹿角市松館		担当者名	チームリーダー 齊藤 一人
プランとの 関連	戦 略	生活環境		
	目指す姿	安らげる生活基盤の創出		
	施策の方向性	安全・安心を支える生活道路の整備		

1. 事業の概要

事業期間	H26 ~ R8 (13年)	総事業費	15.5 億円	国庫補助率	0.55																																																													
事業規模	延長L=1,380m 幅員W=6.0(11.0)m (2.50-1.25-3.00-3.00-1.25)																																																																	
事業の立案 に至る背景	<p>一般県道根瀬尾去沢線は、鹿角市八幡平根瀬と鹿角市尾去沢を結ぶ県道であり、鹿角八幡平地区住民の生活道路としての機能を有しているほか、一般国道282号、一般国道341号の代替路線としての機能を併せ持つ重要な路線である。</p> <p>しかしながら、当該区間は、通学路指定されているにもかかわらず歩道が設置されておらず、また車道の幅員も狭隘(Wmin 5.5m)で、急カーブ(Rmin R50(2箇所))もあり、特に冬期間は堆雪により車道幅員が減少し、歩行者は危険な状況となっている。</p> <p>通勤・通学等の日常を支える道路の安全確保のため、早期に整備を行う必要がある。</p>																																																																	
事業目的	<p>○通学路における児童の安全確保(安全な生活環境の確保)</p> <p>○幅員の確保による車両通行の安全性向上</p> <p>○線形不良区間の改良による見通しの改善</p>																																																																	
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>前回評価</th> <th>今回評価</th> <th>増 減</th> <th>理 由 等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事 業 費</td> <td></td> <td>959,000</td> <td>1,553,000</td> <td>594,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">内 訳</td> <td>経 費</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工 事 費</td> <td>463,000</td> <td>1,081,000</td> <td>618,000</td> <td>ルート見直しによる土工量、砂防河川付替等の増。 その他労務、資材単価等の上昇による増。</td> </tr> <tr> <td>用 補 費</td> <td>362,000</td> <td>360,000</td> <td>-2,000</td> <td>補償物件再算定による減</td> </tr> <tr> <td></td> <td>そ の 他</td> <td>134,000</td> <td>112,000</td> <td>-22,000</td> <td>擁壁設計の減</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">財 源 内 訳</td> <td>国庫補助</td> <td>627,600</td> <td>943,500</td> <td>315,900</td> <td></td> </tr> <tr> <td>県 債</td> <td>298,200</td> <td>548,600</td> <td>250,400</td> <td></td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>33,200</td> <td>60,900</td> <td>27,700</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事 業 内 容</td> <td></td> <td>調査・設計 歩道工 舗装工</td> <td>調査・設計 歩道工 舗装工</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							前回評価	今回評価	増 減	理 由 等	事 業 費		959,000	1,553,000	594,000		内 訳	経 費					工 事 費	463,000	1,081,000	618,000	ルート見直しによる土工量、砂防河川付替等の増。 その他労務、資材単価等の上昇による増。	用 補 費	362,000	360,000	-2,000	補償物件再算定による減		そ の 他	134,000	112,000	-22,000	擁壁設計の減	財 源 内 訳	国庫補助	627,600	943,500	315,900		県 債	298,200	548,600	250,400		そ の 他					一般財源	33,200	60,900	27,700		事 業 内 容		調査・設計 歩道工 舗装工	調査・設計 歩道工 舗装工		
			前回評価	今回評価	増 減	理 由 等																																																												
事 業 費		959,000	1,553,000	594,000																																																														
内 訳	経 費																																																																	
	工 事 費	463,000	1,081,000	618,000	ルート見直しによる土工量、砂防河川付替等の増。 その他労務、資材単価等の上昇による増。																																																													
	用 補 費	362,000	360,000	-2,000	補償物件再算定による減																																																													
	そ の 他	134,000	112,000	-22,000	擁壁設計の減																																																													
財 源 内 訳	国庫補助	627,600	943,500	315,900																																																														
	県 債	298,200	548,600	250,400																																																														
	そ の 他																																																																	
	一般財源	33,200	60,900	27,700																																																														
事 業 内 容		調査・設計 歩道工 舗装工	調査・設計 歩道工 舗装工																																																															
事業の進捗 状況	<p>○令和4年度末での用地補償進捗率見込み約91%。</p> <p>○令和4年度末での事業進捗率見込み約67%</p> <p>○令和3年度末時点で、550m供用済み</p>																																																																	
事業推進上の 課題	特になし																																																																	
関連する計 画等	<p>○第11次秋田県交通安全計画(R3)</p> <p>○鹿角市通学路交通安全プログラム</p> <p>○バリアフリー社会の形成に関する基本計画(秋田県)※バリアフリー計画</p>																																																																	
情勢の変化 及び長期継続 の理由	特になし																																																																	
事業効果把握の 手法及び効果	指 標 名	通学路指定路線における歩道整備率(幅員2.5m以上)																																																																
	指 標 式	実績延長/道路延長																																																																
	指 標 の 種 類	● 成果指標	○ 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無																																																													
	目 標 値 a	47.1 %		データ等の出典	道路課調べ																																																													
	実 績 値 b	47.1 %		把握の時期	令和5年4月																																																													
達成率 b/a	100.0 %																																																																	

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○沿線地区には8名の小学生がおり、当該区間を通学路として利用している。 ○当該区間の前後には歩道が設置されており、歩道の連続性を確保するためにも、当該区間の歩道設置が必要となっている。 ○当該区間は車道幅員が狭く堆雪帯幅も確保されていないことから、冬期においては道路利用者の安全な交通に支障をきたしている。 	20点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○「バリアフリー計画」において安全・安心な歩行者空間の確保が位置づけられており、歩道整備の推進が必要となっている。 ○過去（H9～R3）に事故が12件発生しており、平成17年には歩行者の人身事故が発生している。 ○「鹿角市通学路交通安全プログラム」においても、対策必要箇所として位置づけられており、早急に歩道整備を実施する必要がある。 ○R4に八幡平小学校付近の歩道の舗装補修を別事業（県単道路補修事業）で実施し、歩行者の安全性が向上した。 	20点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○通学路の危険箇所が解消され、安全性の向上が期待される。 ○整備により、公共施設へのアクセス性の向上も図られる。 	15点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○現道拡幅事業のため、部分供用により早期の事業効果発現が可能。（R3.8月にL=550mを供用済み） 	10点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○地元自治会及び鹿角市から要望書が提出されており、多数相続が発生している1筆の取得が残っているが解決の見込みがたっている。 ○住民の協力体制は採択時と比べても変化は無く協力的である。難航していた用地がR3年度に解決し、早期完成に向けて事業を継続していく。 	15点
判 定	<p>ランク（ <input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III ）</p> <p>ランク I であり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を継続すべきである。</p>	80点
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止 事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評 価 点
必 要 性	<ul style="list-style-type: none"> ○沿線地区には8名の小学生がおり、当該区間を通学路として利用している。 ○当該区間の前後には歩道が設置されており、歩道の連続性を確保するためにも、当該区間の歩道設置が必要となっている。 ○当該区間は車道幅員が狭く堆雪帯幅も確保されていないことから、冬期においては道路利用者の安全な交通に支障をきたしている。 	20点
緊 急 性	<ul style="list-style-type: none"> ○「バリアフリー計画」において安全・安心な歩行者空間の確保が位置づけられており、歩道整備の推進が必要となっている。 ○過去（H9～R3）に事故が12件発生しており、平成17年には歩行者の人身事故が発生している。 ○「鹿角市通学路交通安全プログラム」においても、対策必要箇所として位置づけられており、早急に歩道整備を実施する必要がある。 ○R4に八幡平小学校付近の歩道の舗装補修を別事業（県単道路補修事業）で実施し、歩行者の安全性が向上した。 	20点
有 効 性	<ul style="list-style-type: none"> ○通学路の危険箇所が解消され、安全性の向上が期待される。 ○整備により、公共施設へのアクセス性の向上も図られる。 	15点
効 率 性	<ul style="list-style-type: none"> ○現道拡幅事業のため、部分供用により早期の事業効果発現が可能。（R3.8月にL=550mを供用済み） 	10点
熟 度	<ul style="list-style-type: none"> ○地元自治会及び鹿角市から要望書が提出されており、多数相続が発生している1筆の取得が残っているが解決の見込みがたっている。 ○住民の協力体制は採択時と比べても変化は無く協力的である。難航していた用地がR3年度に解決し、早期完成に向けて事業を継続していく。 	15点
判 定	<p>ランク（ <input checked="" type="radio"/> I <input type="radio"/> II <input type="radio"/> III ）</p> <p>ランク I であり、事業実施箇所としての優先度は高く、事業を継続すべきである。</p>	80点
総合評価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

コスト削減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

--